

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 16 日現在

機関番号：15401

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2013～2015

課題番号：25590242

研究課題名(和文)「リーダーシップ教育」の日本モデルの研究

研究課題名(英文) Research for fostering Humanity and Leadership in Distinguished Schools

研究代表者

秦 由美子 (HADA, Yumiko)

広島大学・高等教育研究開発センター・教授

研究者番号：30263031

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：『「進学校」における人間性涵養とリーダーシップ 日本と欧州3ヶ国から学ぶ』を広島大学高等教育研究開発センターの叢書として出版し、全国の国公立大学及び研究所に郵送。

本調査の対象校は、海外では、イートン、セント・ポールズ、シュルーズベリー、ウェストミンスター、マーチャント・テイラーズ、ラグビー、ハロウ、チャーターハウス及びマンチェスター・グラマー・スクールである。他にフランスのリセ、スイスのボーソレイユ・コレージュ、ブリヤモン・インターナショナル、コレージュ・デュ・レマンを、国内では、名門中高一貫校8校(麻布、開成、慶應義塾、甲陽学院、灘、ラ・サール、早稲田)及び日比谷と戸山高校である。

研究成果の概要(英文)：Our research team published the book named "Fostering Humanity and Leadership in Distinguished Schools: Lessons from Japan and Three European Countries". The great changes that took place in the English education system in the 19th and 20th Centuries transformed but did not diminish the role of the independent sector in secondary education. The challenge for reformers is how to expand access to these schools without diminishing academic excellence.

研究分野：高等教育学

キーワード：パブリックスクール リーダーシップ教育 イギリス

1. 研究開始当初の背景

日本社会は、知識基盤社会化やグローバル化の流れの中で市場メカニズムの中に組み込まれ、政治、行政、企業、大学、それぞれの組織の管理運営面において内外から大きな改革が求められてきた。それら改革の要請は東日本大震災後、特に顕著となったといえる。改革にあたっては、自組織と外部環境との関係の変化を分析し、その結果に基づいて社会や市場のニーズを把握し、目的・目標を設定し、それら目的・目標のために、自組織の弱点や強みを考慮しながら、内部環境の分析を行った上で、独自の戦略を展開していく必要がある。しかし、情勢は多様化し、変化し続けているにもかかわらず、制度や枠組み、更にはその頂点に立つ人材が、その変化に伴っておらず、政治、行政、企業、大学、どれをとっても確固たる信念や目的・目標を欠いており、必ずしも組織やひいては日本社会そのものが有効に機能しているとはいえない。つまり、上記4領域に於いて、改革を実施し得る資質や倫理観を備えたリーダーが不足しているためと考えられるのである。

2. 研究の目的

本研究は、「リーダーシップ教育」の日本モデルを検討・提示するためのもので、この定義に近似する人材育成を果たしているイギリス・パブリックスクール(パブリックスクールは、ザ・グレートナイン(ウェストミンスター、ウィンチェスター、イートン、ハロウ、ラグビー、チャーターハウス、マーチャント・テイラーズ、セントポールズ、シュルーズベリー)に焦点を当てた)、他、グラマースクール、スイス及びフランスのエリート学校、における教育に着目し、今日に至る歴史、文化的背景、制度・枠組み、授業内容、教授方法を日本の教育に導入できるかどうかの調査を実施した。

3. 研究の方法

調査方法は、アンケート調査及び面談調査である。第一回研究会を広島大学で開催し、質問紙の設計、訪問調査前段階でのメールでの質問調査のための質問紙の検討した。予備質問紙調査を実施後、改めて質問紙を作成し、訪問調査を実施した。訪問調査を実施した学校は、イギリスのパブリック・スクール(ウェストミンスター、ウィンチェスター、イートン、ハロウ、ラグビー、チャーターハウス、マーチャント・テイラーズ、セントポールズ、シュルーズベリー)及びスイス(3校)及びフランス(3校)のエリート学校(面接調査実施者:48名)、グラマースクール5校(面接調査実施者:17名)で、制度・枠組み、授業内容、教授方法、課外活動等の現地調査を行った。

また、旧制高等学校に関しては、研究協力者の市川昭午氏(財務センター名誉教授)からの情報を得ると共に、研究会を実施した。リーダーシップ教育に関しては、研究協力者の堀尾輝久氏(東京大学名誉教授)を広島大学に招聘し、研究会を実施した。

4. 研究成果

イギリスのパブリックスクールは、調査訪問を許可されるまでにはかなりのメールでのやり取りが必要であった。例えば、ロンドンの在英日本国大使館の教育、スポーツ、文化等を担当する一等書記官から、9校へ訪問調査依頼の書状を送付していただき、回答のあった学校に質問調査票を送付し、訪問調査を実施した。他に、イギリス総領事館・総領事からの紹介、オックスフォード大学出身者からの推薦等を受けながら実施した。

その結果、イギリス国内のパブリック・スクール9校及びグラマースクール5校の訪問調査が完結し、日本に於いては、日本のエリート校9校(灘校、甲陽、ラ・サール、麻布、開成、慶應義塾、早稲田、日比谷、戸山

高校)、他にフランスのリセ、スイスのボーソレイユ・コレージュ・アルパン・アンテルナショナル、ブリヤモン・インターナショナルスクール、コレージュ・デュ・レマン・インターナショナルスクールの訪問調査を終え、それら成果を、叢書『「進学校」における人間性涵養とリーダーシップ - 日本と欧州3ヶ国から学ぶ』として広島大学より出版した。

訪問校の責任者との連携も可能な状態で、八口ウ校の責任者とは、今後、生徒の交流、教員の交流等予定されている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

1. 古阪肇、「英国独立学校と大学進学 「グレートスクールズ」を中心に」『早稲田教育評論』査読無 第28巻第1号 2014: 161-181.

〔学会発表〕(計 1 件)

1. 古阪肇、「英国独立学校における特別活動: extra-curricular activities の多様性に焦点を当てて」日本比較教育学会第50回大会 2014年7月13日 名古屋大学.

〔図書〕(計 1 件)

1. 秦由美子 (編著)『「進学校」における人間性涵養とリーダーシップ - 日本と欧州3ヶ国から学ぶ』広島大学・高等教育研究開発センター、2016、120

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:

種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

秦 由美子 (HADA, Yumiko)
広島大学・高等教育研究開発センター・教授
研究者番号: 30263031

(2) 研究分担者

アスピノール・R・ウィリアム (ASPINALL R. William)
滋賀大学・経済学部・教授
研究者番号: 10346009

大佐古 紀雄 (OSAKO, Norio)
育英短期大学・保育学科・准教授
研究者番号: 10350373

キンモンス・アール (KINMONTH, Earl)
大正大学・人間学部・教授
研究者番号: 70317642

古阪 肇 (FURUSAKA, Hajime)
早稲田大学・教育・総合科学学術院・助教
研究者番号: 20710536(平成26年度から)

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

佐々木 亮 (SASAKI, Ryo)
松原 直美 (MATSUBARA, Naomi)

以下、海外の研究協力者

中央大学・大学院博士課程

ルイス・モ ーリー	サッセクス大学・CHEER センター長
デビッド・ ワトソン卿	オックスフォード大学・教授
サリー・マ ップストー ン	オックスフォード大学・教育担当副 学長
ヘレン・ワ トソン	オックスフォード大学・Director of Planning & Resource Allocation
アイヴァ ー・クルー	オックスフォード大学・カレッジ連 盟・前会長
デビッド・ ターナー	グラモーガン大学
ポール・ラ ージ	オックスフォード・ブルックス大 学・職員
バーナム・ ベカードニ ア	Higher Education Policy Institute, Oxford
ピーター・ スコット	ロンドン大学・教授
デビッド・ アスピノー ル	グラマー・スクール理事、元マンチ ェスター大学・学部長
シルヴェ ン・カリオ ウ・シャル トン	リセ・セント・ジュヌヴェーヴ・ヴ ェルサイユ
フランソワ ーズ・ゴン ベール	リセ・ルイ・ル・グラン
パトリス・ コール	リセ・アンリ IV